時事新報

佛蘭西人二

英國倫敦 高橋義雄

佛蘭西人の奇氣奇骨歐洲中に横絶して行事往々人の意表に出づるゆえは史上其例比々にして時としては強梗不屈の大國を屈服せんと試むる其傍ら小弱國を扶援して却て其獨立を助くるなどの奇特あるは非ず近くはナポレオン第三世が一片の俠氣自から墺國の侵略を制して伊太利の國命を正ら絶たんとするに救ひて今日伊太利王國統一の端緒を開きたるが如き一種異常の義行にして百年以來歐洲義戰あるも其際に此義俠を斷行する其佛國人の志は不思議ゆ又頼母しからずや左ればよや白耳義幷に阿蘭等歐洲西北部の小國は佛獨戰爭の風聞を耳にする毎ゆ獨逸にして勝たば序ゆ小國を呑滅すると固より必然の勢なれども佛國の義膽或は故らゆ小國を庇護して其獨立を許すの趣ある可しとて内心常に佛國の勝を祈るの情を存すと云へり即ち佛國人の奇氣奇骨の國交際上に現はれたる者なれども轉じて商工業社會に入れば亦ナポレオン運河と云ひ銅塊賣買と云ひ又今回の萬國博覧會と云ひ孰れも一種の奇觀ゆして亦ろの規模の尋常あらざるを見る可きあり抑も蘇西運河の開鑿は近世工業史上に於て殆んど未曾有の大事業にして之を成就したる者は佛蘭西人あり然るに佛人の事業に勇ひや此大事業を以て足れりとせず更ゆ進んでパナマ運河の事業ゆ着手し起業以來今日に至る迄殆んど十四億フランクの資本を使用しされども其事業たる實ゆ世界の巨觀にして起業費用の大なると實に前記の如くなれば之を募集するの際ゆ於て種々様々の困難を生じ募集濟みの資本には資本の中より利子を拂ひ或は富籤附きの株券を發行するが爲め幾千の手數料を銀行に狂拂ふ等全資本三分の一は工事外ゆ消費し去りたるを以て昨冬以來俄ゆ起業費の欠乏を來し一時其工事を中止するゆ至りたれども佛蘭西人民の特性として此間忽ち義俠心を現はし絶大の事業は初めより其利益を期す可らず我々佛人たる者は國の名譽を以て其成敗ゆ任せざる可らずとて昨冬最後の富籤附き株券を募集するの際には市場俄に景氣を呈して株券幾層の高價を生じたりと云ふ佛人氣性の凡あらざる一例として見る可きなり扨て又近來佛國にて銅塊專賣の計畫あり其目的たる世界各國の銅山主に對して幾年間銅塊專賣の特約を結び世界の銅を一手に集めて其相場を支配せんとする者にして固より異常の商略なれども此商略を執行するが爲め銅價幾層騰貴して各國銅塊の消費額を減じ之れと同時に其產額を增加したれば專賣發起者は一手に十一萬噸の銅塊を買入れざる可らず左りとては巨額の資本を要す可きゆ付き更に英國商人と謀りて三百萬磅の會社を起し銅塊十一萬噸中八萬噸の專賣を同會社に托するの見込ありと云へり又今回の萬國博覧會は萬端規模の大なると從前其比を見ざる中ゆ就きて最も偉大なるはエフェルの塔なり古來世界の高塔は米國ワレントンの紀念碑五百五十尺埃及の大尖塔四百五十尺日耳曼コロン寺塔五百十一尺墺太利セント ステフエン寺塔四百七十尺を以て稱首と爲せども今回エフェルの大塔は其高さ凡そ一千尺ゆして古來世界の高塔ゆ比すれば殆んど二倍するものゝ如し扨て又古來の大館中内部に支柱を置かざる者は英國倫敦セント パンクラス停車場を以て最とし其幅二百四十尺なれば巴里博覧會の器械陳列館は其幅三百七十五尺にして是れ亦未曾有の建築なりと云ふ其他國民日常の行事概ね奇僅落にして事々物々天下第一流を以て自ら任じ佛人の名を冠したる事業をば國民一般國の名譽を以て扶援するの氣性を存し時に或は金錢上の勘定をも離れて其成否ゆ心配するゆとおきゆ非ず即ち前記パナマ運河會社の危急に際して株券ゆ高價を命じたるが如き實に其一例にして國民銘々國事を負擔するの氣性あるは誠ゆ驚く可きみとなり特に近日露國にて四朱利附きの公債を募集せんとし伯林幷に倫敦ゆて孰れも好結果を得ざるゆ當り巴里府にては之れに應ずるもの甚だ多く當時露國四朱半利附きの賓公債は市場の相場九十五ゆして此割合ゆ從へば四朱利附きの新公債は八十四半の相場ゆる可く若しも之より高直なれば寧ろ四朱半利附きの舊公債を購求すべき筈ゆるゆ佛人は市場ゆ聲言して露國は我が未來の聯合國なり其公債の募集に應ずるは佛露國際上の友誼ゆりとて四朱利附きの公債に八十六半を仕拂たる者十一萬人の多きゆ上りたりと云ふ左れば當時此景況を實見したる在巴里のタイムス通信者は事の餘りに意外なるに驚きゆ近日佛人の擧動は實に心理學上の一問題にして之を解釋するゆは數卷の書冊を要す可し云々と述べたりしが如何ゆも此等俠客風の擧動は十露盤玉を戲して進行する英獨人ゆとの辨ずる能はざる所ならん勿論佛人の一擧一動悉く感服す可きに非ず名案もあり失策もあり時としては大人の如く時としては小兒の如く人事萬端不揃ひゆして官民大事功に勇むが爲めに國費も亦隨て多く國債額は世界第一ゆして租稅は前二十年間に凡そ百分の六十を增加し千八百六十八年ゆは二十一億フランクなりしゆ千八百八十八年には三十四億フランクの巨額に達せり財政の巧ゆるものとは思はれず然かもゆす〳〵兵備を張り天下の盛觀を巴里に集めて世界富國の一たるを失はざるゆは是れ亦大ゆ驚く可きものならんのみ

官報

朕國稅事務取扱ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治廿二年五月八日

内閣總理大臣伯爵黑田清隆

大蔵大臣伯爵松方正義

勅令第六十三號

明治廿二年七月一日以降各郡市役所所在地ニ府縣收稅部出張所ヲ設ケ收稅屬ヲシテ左ニ掲クル事項ヲ取扱ハシム 一土地臺帳及地圖ニ關スル事項 一國稅ヲ課スル諸營業鑑札下付ニ關スル事項 一諸印紙賣下ニ關スル事項 一帳簿檢印ニ關スル事項 一市ノ國稅徵收ニ關スル事項 一國稅徵收法第十一條第十二條中收入官吏ノ職務ニ關スル事項

朕徵兵事務條例中徵募區及市長市書記市徵兵參事員ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治廿二年五月八日

内閣總理大臣伯爵黑田清隆

陸軍大臣伯爵松方正義

海軍大臣伯爵西鄕從道

勅令第六十四號

徵兵事務條例第三條ノ徵募區ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區長若クハ市書記ノ職務ハ東京市京都市大坂市ニ於テハ區長若クハ市徵兵參事員ヲ置カス區ニ區徵兵參事員ヲ置キ市徵兵參事員ノ職務ヲ掌ラシム其人員撰擧人被撰擧人資格撰擧ノ方法及任期ハ市徵兵參事員ニ同シ區徵兵參事員ノ撰擧月日及撰擧開會並投票函閉鎖ノ時刻ハ明治二十二年ニ限リ府知事ヨリ撰擧開會五日以前ニ告示スルコトヲ得

○内務省令第七號

明治十六年(十月)太政官第三十四號布達醫術開業試驗規則第十一條中試驗主事者トアルヲ試驗委員長ト改メ及該規則中第三條第四條第十二條ヲ削除ス

明治廿二年五月九日 内務大臣伯爵松方正義

○海軍省令第二號

明治十九年(五月)省令第三十四號海軍生徒召募規則ヲ廢ス

明治廿二年五月九日 海軍大臣伯爵西鄕從道

○文部省告示第三號

京都府々立京都府醫學校 大坂府々立大坂醫學校 愛知縣々立愛知醫學校

右ハ明治二十二年(一月)法律第一號徵兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治廿二年五月九日 文部大臣子爵榎本武揚

文部省告示第三號參照

法律第一號徵兵令(明治廿二年一月廿二日)抄錄

第十一條 滿十七歲以上滿二十六歲以下ニシテ官立學校(帝國大學攝科及小學科ヲ除ク)府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上 認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シタル志願者ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但シ費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ段アル者ニハ其類部ヲ官給スルコトアル可シ

前項ノ一年志願兵ハ特別ノ教育ヲ授ケ現役滿期ノ後二箇年間豫備役ニ五箇年間後備役ニ服セシム

第十七歲以上二十六歲以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業者ハ六箇月間陸軍現役ニ服スルコトヲ得其服役中ノ費用ハ當該學校ヨリ之ヲ辨償スルモノトス

前項志願兵ニシテ現役ヲ終リタル者ハ七箇年間豫備役ニ服シ三箇年間後備役ニ服ス

○財政の狀況

伊國統一の戰爭後殆ど困難の極度に達したる財政を救治し更に能く整齊鞏固ならしむるを得たるゆと伊國の如きは北米合衆國を除くの外他に類例を見ざるゆり曾て伊國の紙幣流通高は十八億リラ(一リラは二十錢)の巨額ゆ達し歲計の不足額は愈々增して七億二千百萬リラと爲り竟ゆ伊國の財政は强制相場法を施行せざるを得ざるゆ至りしゆとありしゆ財務官其人を得たると國民の愛國心一層强盛に赴きたるとに依り僅ゆ十年間を出でずして更ゆ能く國家歲計の秩序を恢復するを得たり即ち穀粉稅等の如き種々の新稅を賦課し加ふるに節儉法其宜しきを得たるがため再び歲出入の平均を保つゆ至れり千八百七十年ゆは於て尚ほ二億十四百萬リラの不足を生せしも既ゆ其整年ゆは於ては四千七百萬リラに減じ千八百七十五年及同六年に於ては稍や歲計に剩餘を生じ千八百七十七年より千八百八十年に至る間ゆは於ては其剩餘額大に增加せり是に於て政府は前の强制相場法を廢し且つ流通紙幣六億五百萬リラを回收して金貨融通の回復を謀りたるのみならず尚ほ七億七千萬リラの醫庫公債を消却し得るに至れり此節儉時期に於て國民經濟の度は一般大ゆ發達進歩し當時尚も世界一般の商工業萎靡不振の時期に際したるゆも拘らず伊國の繁榮は衰退の狀を呈するゆ伊國政府の政策漸く變じて大ゆ國費を要するの方向に遷りたるの當初までは尚ほ能く其盛況を保つを得たり伊國の五分利附公債證書の平均相場は千八百七十年に於て五十五法ありしも千八百八十七年ゆは於て九十三法七十五參ゆ騰貴し貯金所の預り金額は千八百六十五年乃至七十年ゆは於て毎年平均二億六千九百五法ありしに千八百七十一年乃至同六年ゆは於ける毎年平均の預り金額は增して五億千七百萬法となり千八百七十七年乃至同八十一年ゆは於ては毎年平均八億四千萬法となり千八百八十二年乃至同七年ゆは於ては十三億六千百萬法と爲れり又此二十年間ゆは於て銀行の爲替劵割引及貸附金額は十六億五千萬リラより三十四億八千七百萬リラゆ增加し外國貿易總價額は十五億七千五百萬リラより增して五十一億八千百萬リラとなり其他租稅の收入は千八百七十七年より同八十七年に至るの十年間に於て十億千七百萬リラより增して十二億八千七百萬リラと爲れり然れども伊國の政治家は其赫然たる財政の成蹟を得たる後は輕率の評を免れざるもの〳〵如し即ち貨幣と紙幣の價額の差を回復したるにも拘はらず千八百八十七年ゆは於て尚ほ五百萬リラの不足を生ずるの狀況にして其年の歲入は十八億五百萬リラの不足を生ずるの狀況にして其年の歲入は十八億五百萬リラの不足を生ずるの狀況にして其年の歲入は十八百八十七年度ゆは於て尚ほ